

文部科学大臣 殿

学校法人 都築学園

理事長 都 築 仁 子

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	第一薬科大学
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・専門学校)
大学等の所在地	福岡県福岡市南区玉川町 22 番 1 号
学長又は校長の氏名	都築 仁子
設置者の名称	学校法人 都築学園
設置者の主たる事務所の所在地	福岡県福岡市南区玉川町 22 番 1 号
設置者の代表者の氏名	都築 仁子
申請書を公表する予定のホームページアドレス	大学 HP「情報の公表」⇒「高等教育無償化機関確認申請書」 http://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/page_13655.html

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

- 確認申請
大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。
- 更新確認申請
大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

- この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実に相違ありません。
- 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。
- 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事務次長 豊原敬三	092-541-0161	k-toyohara@daiichi-cps.ac.jp
第2号の1	事務次長 豊原敬三	092-541-0161	k-toyohara@daiichi-cps.ac.jp
第2号の2	事務次長 豊原敬三	092-541-0161	k-toyohara@daiichi-cps.ac.jp
第2号の3	事務次長 豊原敬三	092-541-0161	k-toyohara@daiichi-cps.ac.jp
第2号の4	事務次長 豊原敬三	092-541-0161	k-toyohara@daiichi-cps.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事(役員)名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	第一薬科大学
設置者名	学校法人 都築学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
薬学部	薬学科	夜・通信		31.5	4.5	36	19	
	漢方薬学科	夜・通信			4.5	36	19	
看護学部	看護学科	夜・通信			118	118	13	
(備考) 漢方薬学科は、現在5年次であり令和3年度に完成年度(6年次)を迎える。 看護学部は令和2年度学部開設した。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学HP「情報の公開」⇒「シラバス」 http://www.daiichi-cps.ac.jp/syllabus/h30.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	第一薬科大学
設置者名	学校法人 都築学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学HP「情報の公開」⇒「法人役員」 http://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/officer.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	本法人以外の大学の 元学長	H31. 1. 5～ R3. 1. 4	法人の運営体制へ のチェック機能
非常勤	株式会社取締役	R1. 10. 1～ R3. 9. 30	法人の運営体制へ のチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	第一薬科大学
設置者名	学校法人 都築学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>① 前年度5月に、教務委員会でカリキュラムを検討し、見直し・修正を行う。 ② 6月の定例教授会でカリキュラムを決定、学長に諮問し了承を得る。 ③ 決定したカリキュラムを基に、科目担当教員を決定し、12月までにシラバスを作成 ④ 1月に教務委員会でシラバスを審議し、必要に応じて修正し、シラバスを完成する。 ⑤ 3月までに印刷製本し、4月のガイダンスで学生に配布するとともに、HPに掲載し公表する。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>大学HP「情報の公開」⇒「シラバス」 http://www.daiichi-cps.ac.jp/syllabus/h30.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>① 授業科目の特性に応じ、評価方法は、定期試験単独、授業態度(発表内容含む)、レポート及び試験等を併用する等に分かれ、実務実習、卒業研究等については、ルーブリック評価を取り入れ客観的に実施している。 ② 授業科目ごとにシラバスに記述している評価方法により、科目担当教員が科目の評価を実施し、履修規定第16条に示す評価方法により、単位の認定及びGPを付与する。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

履修規定第16条

学業成績は点数をもって行うとともに、下表の標語及びグレード・ポイント(以下「GP」という。)をもって表すものとする。

標語	点数	GP
秀	100～90点	4
優	89～80点	3
良	79～70点	2
可	69～60点	1
不可	59点以下	0

2 可上を合格とし、不可を不合格とする。

3 学力を総合的に評価する指標として、グレード・ポイント・アベレージ(以下「GPA」という。)を使用する。

各履修科目のGPに、科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の単位数の合計で割ったものがGPAとなる。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

大学HP「情報の公開」⇒「履修規定」

http://www.daiichi-cps.ac.jp/images/material/2/files/r2_rishukitei_ph.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

HPで公表している学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)は以下の通り

第一薬科大学(以下「本学」という)は、本学の建学の精神「個性の伸展による人生練磨」を基本理念とし、本学の教育課程を修得したうえで、以下の項目を満たす学生に卒業を認定し、学位を授与する。

薬学部 薬学科

①態度

社会や他者から必要な情報を収集し、相互の尊重のもとに、医療人として責任感と倫理観をもって行動することができる。

②知識

薬の基本知識に加え、医療全般や臨床に関する専門的知識を身に付けている。

③技能

安全で有効な医薬品の使用を推進するために、社会や他者と適切なコミュニケーションを図りながら、薬の専門家として相応しい技能を身に付けている。

④医療活動

人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献するために、薬の専門家として必要な実践的能力を身に付けている。

⑤自己研鑽

薬学・医療の進歩に資するために、教育・研究を遂行する意欲、問題発見・解決能力を身に付けている。

薬学部漢方薬学科

①態度

社会や他者から必要な情報を収集し、相互の尊重のもとに、医療人として責任感と倫理観をもって行動することができる。

②知識

薬の基本知識に加え、医療全般や漢方に関する専門的知識を身に付けている。

③技能

安全で有効な医薬品の使用を推進するために、社会や他者と適切なコミュニケーションを図りながら、薬の専門家として相応しい技能を身に付けている。

④医療活動

人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献するために、薬の専門家として必要な実践的能力を身に付けている。

⑤自己研鑽

薬学・医療の進歩に資するために、教育・研究を遂行する意欲、問題発見・解決能力を身に付けている。

看護学部看護学科

①知識・態度

幅広い教養と看護の専門的知識を基盤に看護の責任と役割および自律性を認識し、看護職者として職業倫理に基づく良識ある看護を実践することができる。

②技能

あらゆる健康レベルの看護対象を理解し、薬物療法に関する正しい知識を用いて、科学的根拠に基づく基礎的な看護を実践することができる。

③保健医療福祉活動

多様な看護の場において多職種と連携・協働し、地域の保健・医療・福祉の課題に貢献することができる。

④調整力

看護の専門性と役割を認識した調整力を発揮するためのリーダー的能力の素地を身に付けている。

⑤自己研鑽

専門職業人として、医療の進歩や社会の動向を踏まえ、看護実践能力向上のために継続的に研鑽する基礎的能力を身に付けている。

卒業判定については、2月の教授会で、上記ディプロマポリシーを満たしていること及び卒業修得単位を満たしていることを個別に判断し、結果を学長に諮問、学長の了承を得て、学位授与者を認定することで実施している。

卒業の認定に関する方針の公表方法

大学 HP「情報の公開」⇒「3つの方針(ポリシー)」

<http://www.daiichi-cps.ac.jp/daigaku/policy.html?pid=24294>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	第一薬科大学
設置者名	学校法人 都築学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/zaimu.html
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	http://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/jigyou.html
監事による監査報告(書)	http://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/zaimu.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/daigaku_hyouka.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/daigaku_hyouka.html

3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 薬学部薬学科
教育研究上の目的（公表方法：大学 HP「情報の公開」⇒「学則」 http://www.daiichi-cps.ac.jp/images/material/2/files/r2_gakusoku.pdf
<p>(概要)</p> <p>教育目標</p> <p>(1) 「惻隱の情」を持つ薬剤師の養成</p> <p>(2) 実践的能力を持つ薬剤師の養成</p> <p>(3) 創造的な薬剤師の養成</p> <p>(4) 薬の専門家として医療の各分野に対応できる知識・技能・態度と豊かな人間性、倫理観を備えた実践能力の高い薬剤師の育成</p> <p>研究目標</p> <p>(1) 個性と創造性のある研究の推進 自由な発想に基づく独創的な学術研究を進展させ、医療および薬学分野における高度な専門知識・技術・技能の発展に貢献する。</p> <p>(2) 基礎から応用に至るまでの研究推進 多様な社会からの要請に基づく医療および薬学分野における基礎的研究および臨床応用研究を推進し、医療・福祉の増進に貢献する。</p> <p>(3) 地域社会や国際交流を視野においた研究の推進 地域社会や国際社会からの要請に応えるために、国内外の医療機関、研究機関と協同し学術連携、人的交流を通じて研究を推進し、医療および薬学の進展に貢献する。</p>
卒業の認定に関する方針 (公表方法： http://www.daiichi-cps.ac.jp/daigaku/policy.html?pid=24294)
<p>(概要)</p> <p>①態度 社会や他者から必要な情報を収集し、相互の尊重のもとに、医療人として責任感と倫理観をもって行動することができる。</p> <p>②知識 薬の基本知識に加え、医療全般や臨床に関する専門的知識を身に付けている。</p> <p>③技能 安全で有効な医薬品の使用を推進するために、社会や他者と適切なコミュニケーションを図りながら、薬の専門家として相応しい技能を身に付けている。</p> <p>④医療活動 人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献するために、薬の専門家として必要な実践的能力を身に付けている。</p> <p>⑤自己研鑽 薬学・医療の進歩に資するために、教育・研究を遂行する意欲、問題発見・解決能力を身に付けている。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： http://www.daiichi-cps.ac.jp/daigaku/policy.html?pid=24294)
<p>(概要)</p> <p>① 豊かな教養と人間性を醸成する教養教育・倫理教育科目を配置します。</p> <p>② 国内外の医療従事者と連携できる医療系教養・専門教育科目を配置します。</p> <p>③ 基礎薬学から医療薬学に至るまで、実践能力を持つ薬剤師として必要な知識、技能を醸成する専門科目を配置します。</p> <p>④ 問題発見能力、問題解決能力、プレゼンテーション能力を醸成し自己研鑽できる専門</p>

<p>科目を配置します。</p> <p>⑤ 薬剤師として、様々な医療現場で活躍できる能力を醸成するアドバンスト専門科目を配置します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：http://www.daiichi-cps.ac.jp/daigaku/policy.html?pid=24294)</p>
<p>(概要)</p> <p>① 高等学校の教育課程を幅広く修得しており、理科系科目（化学、数学、物理、生物）の基礎的な内容を身に付けている。</p> <p>② 協調性および相互理解のためのコミュニケーション能力を有している。</p> <p>③ 生命を尊重し、他者を大切に思う心がある。</p> <p>④ 薬学に関心を持ち、人々の健康増進と医療に貢献したいという目的意識を持っている。</p> <p>⑤ 入学前教育として求められる、必要な基礎的な知識を身につけるためのプログラムに最後まで取り組む意欲がある。</p>

<p>学部等名 薬学部漢方薬学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：大学 HP 「情報の公開」⇒「学則」 http://www.daiichi-cps.ac.jp/images/material/2/files/r2_gakusoku.pdf</p>
<p>(概要)</p> <p>教育目標</p> <p>(1) 「惻隱の情」を持つ薬剤師の養成</p> <p>(2) 実践的能力を持つ薬剤師の養成</p> <p>(3) 創造的な薬剤師の養成</p> <p>(4) 薬の専門家として医療の各分野に対応できる知識・技能・態度と豊かな人間性、倫理観を備えるとともに、日本独自の伝統医学である漢方に精通した実践能力の高い薬剤師の育成</p> <p>研究目標は、薬学科と同じである。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：http://www.daiichi-cps.ac.jp/daigaku/policy.html?pid=24294)</p>
<p>(概要)</p> <p>①態度 社会や他者から必要な情報を収集し、相互の尊重のもとに、医療人として責任感と倫理観をもって行動することができる。</p> <p>②知識 薬の基本知識に加え、医療全般や漢方に関する専門的知識を身に付けている。</p> <p>③技能 安全で有効な医薬品の使用を推進するために、社会や他者と適切なコミュニケーションを図りながら、薬の専門家として相応しい技能を身に付けている。</p> <p>④医療活動 人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献するために、薬の専門家として必要な実践的能力を身に付けている。</p> <p>⑤自己研鑽 薬学・医療の進歩に資するために、教育・研究を遂行する意欲、問題発見・解決能力を身に付けている。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：http://www.daiichi-cps.ac.jp/daigaku/policy.html?pid=24294)</p>
<p>(概要)</p> <p>① 豊かな教養と人間性を醸成する教養教育・倫理教育科目を配置します。</p> <p>② 国内外の医療従事者と連携できる医療系教養・専門教育科目を配置します。</p> <p>③ 基礎薬学、医療薬学および漢方に至るまで、実践能力を持つ薬剤師として必要な知識、技能を醸成する専門科目を配置します。</p>

<p>④ 問題発見能力、問題解決能力、プレゼンテーション能力を醸成し自己研鑽できる専門科目を配置します。</p> <p>⑤ 薬剤師として、様々な医療現場で活躍できる能力を醸成するアドバンスト専門科目を配置します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.daiichi-cps.ac.jp/daigaku/policy.html?pid=24294)</p>
<p>(概要)</p> <p>① 高等学校の教育課程を幅広く修得しており、理科系科目（化学、数学、物理、生物）の基礎的な内容を身に付けている。</p> <p>② 協調性および相互理解のためのコミュニケーション能力を有している。</p> <p>③ 生命を尊重し、他者を大切に思う心がある。</p> <p>④ 日本独自の伝統医学である漢方に関心を持ち、人々の健康増進と医療に貢献したいという目的意識を持っている。</p> <p>⑤ 入学前教育として求められる、必要な基礎的な知識を身につけるためのプログラムに最後まで取り組む意欲がある。</p>

<p>学部等名 看護学部看護学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：大学HP「情報の公開」⇒「学則」 http://www.daiichi-cps.ac.jp/images/material/2/files/r2_gakusoku.pdf</p>
<p>(概要)</p> <p>看護学部は、広く保健医療に関する専門的な知識・技能・態度を授け、実践的な能力を有する人材を育成することを目標とする。看護学科の教育目標は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) リーダーシップと「惻隱の情」を持つ専門職業人の養成</p> <p>(2) 根拠に基づいて基礎的な看護を実践する能力</p> <p>(3) 多様な看護の場で多職種や地域と連携・協働する能力</p> <p>(4) 薬剤による治療や予防を看護の視点で捉える強化された能力</p> <p>研究目標は、薬学部と同じである。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：http://www.daiichi-cps.ac.jp/daigaku/policy.html?pid=24294)</p>
<p>(概要) 認可申請中のディプロマポリシーは以下の通りである。</p> <p>①知識・態度 幅広い教養と看護の専門的知識を基盤に看護の責任と役割および自律性を認識し、看護職者として職業倫理に基づく良識ある看護を実践することができる。</p> <p>②技能 あらゆる健康レベルの看護対象を理解し、薬物療法に関する正しい知識を用いて、科学的根拠に基づく基礎的な看護を実践することができる。</p> <p>③保健医療福祉活動 多様な看護の場において多職種と連携・協働し、地域の保健・医療・福祉の課題に貢献することができる。</p> <p>④調整力 看護の専門性と役割を認識した調整力を発揮するためのリーダー的能力の素地を身に付けている。</p> <p>⑤自己研鑽 専門職業人として、医療の進歩や社会の動向を踏まえ、看護実践能力向上のために継続的に研鑽する基礎的能力を身に付けている。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 認可後、薬学部準じて公表する。</p>

<p>(概要) 認可申請中のカリキュラムポリシーは以下の通りである。</p> <p>① 豊かな人間性と幅広い教養とリーダーシップ能力の素地を培うための教養・基礎分野の科目を配置する。</p> <p>② 看護の対象としての人間の健康と疾病を理解し、根拠に基づいた看護実践能力を育成するために専門支持分野、基礎看護学分野、専門実践分野の科目を配置する。</p> <p>③ 看護専門職として多様な分野で多職種と連携協働する力を養うために、地域基盤教育科目、領域横断展開科目を配置する。</p> <p>④ 看護の視点で薬物療法をとらえ専門的援助ができる能力を育成するために薬学に関する科目を配置する。</p> <p>⑤ 将来にわたり継続的に看護を探究し、自己研鑽をしていくための基礎的能力を養うための看護統合分野の科目を配置する。</p> <p>⑥ 保健師教育課程、助産師教育課程を履修できる選択科目を配置する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：http://www.daiichi-cps.ac.jp/daigaku/policy.html?pid=24294)</p>
<p>(概要) 認可申請中のアドミッションポリシーは以下の通りである。</p> <p>① 看護職者への明確な目的意識をもち、看護を通して地域医療に貢献しようという意欲を持っている。</p> <p>② 専門的知識・技術の修得に必要な基礎学力を有している。</p> <p>③ 多様な人とコミュニケーションをとることができる。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：大学HP「情報の公開」⇒「基本組織」</p> <p>http://www.daiichi-cps.ac.jp/images/material/2/files/kyoiku_kenkyu_soshiki.pdf</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
薬学部	—	26人	13人	8人	8人	5人	60人
看護学部	—	6人	3人	6人	5人	1人	21人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
2人				人			2人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学HP⇒研究室紹介 http://www.daiichi-cps.ac.jp/kenkyu/index.html?pid=17342					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
薬学部	173人	128人	74%	1038人	936人	90%	—人	3人
看護学部	80人	78人	98%	80人	78人	98%	—人	—人
合計	253人	206人	81%	1118人	1014人	91%	—人	3人
（備考）看護学部は令和2年度開設（現在1年生のみ在学）								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
薬学部	156人 (100%)	3人 (2%)	85人 (54%)	68人 (44%)
合計	156人 (100%)	3人 (2%)	85人 (54%)	68人 (44%)
（主な進学先・就職先）（任意記載事項） 病院等27人、調剤薬局58人				
（備考）看護学部は令和2年度開設				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>年間の授業の計画作成要領については以下の通り</p> <p>① 前年度5月に、教務委員会でカリキュラムを検討し、見直し・修正を行う。</p> <p>② 6月の定例教授会でカリキュラムを決定、学長に諮問し了承を得る。</p> <p>③ 決定したカリキュラムを基に、科目担当教員を決定し、12月までにシラバスを作成</p> <p>④ 1月に教務委員会でシラバスを審議し、必要に応じて修正し、シラバスを完成する。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>学修の評価については以下の通り</p> <p>① 授業科目の特性に応じ、評価方法は、定期試験単独、授業態度(発表内容含む)、レポート及び試験等を併用する等に分かれ、実務実習、卒業研究等については、ルーブリック評価を取り入れ客観的に実施している。</p> <p>② 授業科目ごとにシラバスに記述している評価方法により、科目担当教員が科目の評価を実施し、履修規定第16条に示す評価方法により、単位の認定及びGPを付与する</p> <p>卒業の認定については以下の通り</p> <p>卒業判定については、2月の教授会で、ディプロマポリシーを満たしていること及び卒業修得単位を満たしていることを個別に判断し、結果を学長に諮問、学長の下承を得て、学位授与者を認定することで実施している。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
薬学部	薬学科	188 単位	有・無	単位
	漢方薬学科	188 単位	有・無	単位
看護学部	看護学科	124 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：大学HP「薬大みてある記」</p> <p>http://www.daiichi-cps.ac.jp/mitearuki/index.html</p>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
薬学部初年度	薬学科	1,400,000 円	200,000 円	300,000 円	
	漢方薬学科	1,400,000 円	200,000 円	300,000 円	
薬学部 2年次以降	薬学科	1,400,000 円	- 円	500,000 円	
	漢方薬学科	1,400,000 円	- 円	500,000 円	
看護学部初年度		1,000,000 円	200,000 円	500,000 円	
看護学部 2年次以降		1,000,000 円	- 円	500,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 女子寮を完備 http://www.daiichi-cps.ac.jp/gakuseika/guesthouse.html?pid=25144 自習室等の開放 http://www.daiichi-cps.ac.jp/gakuseika/studyroom.html 学修ステーションの開設 http://www.daiichi-cps.ac.jp/gakuseika/station.html
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリアサポート室を設置し、専属職員を配置 学生のWEBサイトに求人票検索サイトを設け求人情報が得られるサービスを実施 http://daiichi-cps.cplan/gakusei/web/CplanMenuWeb/UI/CategoryV2.aspx?system_cd=WSH
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 医務室、学生相談室を設置し職員を配置するとともに、ハラスメント相談窓口を設け、相談員を公表している。 大学HP「在学生の皆様へ」⇒「学生相談室・ハラスメントについて」 http://www.daiichi-cps.ac.jp/gakusei/page_13634.html?pid=13634

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学HP「研究室紹介」 http://www.daiichi-cps.ac.jp/kenkyu/index.html
